

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	久米川保育園
日時	令和7年6月25日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

自然・・・1歳児「カタツムリを見たり、触ったりしてみよう」

<テーマ設定理由>

前回ありを観察したり触れたりして虫に興味を持っており、もも組でカタツムリに触れていたため子ども達も壁面などで興味を持っていたカタツムリを実際に見たり触れたりできるようにした。

## 2. 活動スケジュール

もも組で観察していたカタツムリを見せてもらう。興味のある子はじっくりと観察したり実際に手で触ってみたりできるよう、マットの上で観察する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

かたつむりを乗せるダンボールの箱を浅く切ったケース  
近くで見られるようマットの上にケースを置く。

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

ケースを持ってくると、興味を持って覗いてみたり、手を伸ばし殻や体に触ってみようとしていた。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

子A：ケースに載ったカタツムリを指差し「ゴーゴー」と言う。  
 B：指差し、人差し指と親指でカタツムリをつまむ。目元に寄せて眺める。  
 C：その様子を見て近づき、座る。カタツムリに触れる。  
 D：座ったままケースの側で見ています。ふいに歓声を上げ後ずさりし、手を叩いて笑っている。  
 E：指差し、笑顔で見ている。  
 B：角を出したことに気づいて指差している。  
 D：手を叩いて笑顔を見せる。カタツムリを見つめている。  
 A：何度も「ゴーゴー、ゴーゴー」と言いながら指差している。  
 B：動き出すと保育者を見て笑い声をあげる。  
 A：指先でつまむ。顔に近づけて眺める。  
 E：保育者が持っていたカタツムリをケースに置くと、手を出してひっくり返す。裏側を見てから持ち上げ、渦の裏側を見る。すぐにケースに戻す。  
 F：カタツムリを見ている子どもの側に来てカタツムリがいることに気づく。友達が置いたカタツムリが転がって笑う。  
 保育者の膝に移動し、大きな歓声を上げて眺めている。顔を近づけて覗き込む。  
 \*子ども達は、殻の中に体が入っていると手に取る。  
 角や体の部分が出ていると歓声を上げたり、指差しして笑っている。  
 A～Fしばらくの間、眺め続けている。  
 B：角を出して動いているカタツムリの殻に指先で触れる。  
 C：持ち上げて裏側を見る。  
 F：（見ていることが楽しい様子）カタツムリがいることを喜び何度も歓声を上げる。  
 A：角を出しているカタツムリを指差し笑う。（「おー」と発し話しかけるような様子）  
 殻に入っているカタツムリを裏返し、穴のところを見ている。  
 G：それまで参加していなかったが、以前に作ったカタツムリの製作（壁面に掲示）を指差し「あつた、あつた」と言う。  
 \*保育者が「あつた、あつた」と答える。  
 F：立ち上がり、壁面に近づいて指差す。（「同じ」ということが分かったのか手を叩き）  
 D：「あつた、あつた」と指差す。  
 A～F餌のキャベツにも気づき、手に取る。  
 A：「はっば、はっば」と何度も話す。触りに行く。  
 B：（殻に入っていると転がしたり、上から放ったりする）  
 D：角の先端を眺めている。  
 A～F何度も場所を変えて眺めている。  
 カタツムリを身体を隠してしまい、歓声が止む。「あれ～」の声。  
 殻に入ったカタツムリを眺めている。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・0歳児でも同じ活動を行ったが、年齢で反応の違いがあり面白いと思った。子ども達が自由に触り、壁面にもカタツムリがあったことで、子どもの中でもそこに繋がっていたので良かった。
- ・子どもにとって良い経験となる活動であった。
- ・口に入れないことが言葉がけで分かる子ども達だったので0歳児の活動とはまた違って実際に触っていたが、臆することなく触ってみる子もいたり遠くから見たりするそれぞれの反応があり、それぞれの発達や成長の違いがあるように感じた。経験での理解や実際に触ったりして学習したことによる一人ひとりの反応の仕方の違いがあった。
- ・ひっくり返して見るということは表と裏の違いを発見していたり、穴から出てくることを何となく理解していた反応だったのではないかと。
- ・歌などで漠然と知っているものを実際に触れたり見たりすることができるのが良い経験となり、様々なことに興味を持つきっかけになるのではないかと。
- ・実際に見たり触れたりする経験をしてから製作をするとより良いのではないかと。
- ・子どもから「ごーごー」などの擬音が出ていたが動くものの認識があったのではないかと。
- ・すぐに手を伸ばす子、暫く観察してから手を出す子、遠巻きに見る子などそれぞれの反応があった。
- ・みんな「きゃー」と声を出していたが、恐怖で出しているのではなく言葉が出ない反面歓声や喜び、驚きなどの感情を周りの人と共有したい気持ちの表れのように感じた。
- ・長い時間みんなで見ている、とても興味があったことが感じられた。

